

# 授業時数特例校の取組 篠山小学校

本校は、学校や地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、これまでの標準時数は確保した上で、教科等の授業時数の配分について一定の弾力化による「特別の教育課程」の編成を認める制度に申請し、令和5年2月文部科学省より「授業時数特例校」に指定されました。

## 授業時数特例校について

### 【特例の目的】

科学的思考を育む理科教育の発展として探究的な学びを充実させる単元を総合的な学習の時間に設定する教科横断的な視点に立った資質・能力を育てる。

#### ◆総合的な学習の時間を活用し探究学習に取り組む

科学的思考を育む理科の学習からさらに疑問にもった内容を追求する探究学習を進める。「本当にそうなるのか」「どうやって確かめるのか」といった自らの問いを主体的に協働的に探究していく。3学期の科学の日に向けてものづくりの学習を進めていく。

#### ◆ものづくりの探究活動

ものづくりは、「どのような仕組みで作られているのか」ということを学ぶ事ができます。このことは、理科の学習で学んだことが日常生活で生かされている事の理解につながり、日常生活での理科の有用性を理解する役割として機能していきます。理科での学びをさらに探究していく上で、科学的思考を育むことが期待できます。

# 授業時数特例校の取組

# 篠山小学校

## 【上乘せした時間で何をするのか】

- ①個々の課題の設定（問いを立てる時間）ものづくり単元の設定
- ②③理科で学んだ事を生かしたものづくり
- ④グループ、学年での交流
- ⑤個々の課題の振り返りと次の課題の設定

## 【授業時数表】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	306 ↓ 296	315 ↓ 305	245 ↓ 235	245 ↓ 235	175 ↓ 165	175 ↓ 165
生活	102 ↓ 112	105 ↓ 115				
総合的な学習の時間			70 ↓ 80	70 ↓ 80	70 ↓ 80	70 ↓ 80

## 【期待する姿】

- ①探究的な課題を個々で作る姿
- ②ものづくりを行いながら追究する姿
- ③協働的な学びを通して課題を解決する姿
- ④他の学習や日常生活において「なぜ」「どうして」と自ら課題を作り、追究する学びに向かう姿

## 【検証】

- ①学期末児童アンケート（自己評価）
- ②保護者学校アンケート
- ③教師評価